

未来立憲民主ちは

議会だより
2021年 冬号

私たち市民の皆様の声をかたちにします！
お近くの議員または未来立憲民主ちはへお気軽にお寄せください。
TEL : 043-245-5482 FAX : 043-245-5566
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1 千葉市議会事務局内
ホームページ <http://miraiminshu.com/>
E-mail : chiba@miraiminshu.com



※2021年11月15日に市長へ予算要望書を提出した時の写真です。

神谷市長へ「全額現金給付」を求める要望書提出、実現へ！

国が示している「臨時特別給付金」事業は、年内支給を目指す「現金給付」と来年春頃に支給予定の「クーポン給付」が想定されています。クーポン給付については、現金給付と比較して、新たに967億円もの事務経費がかかることや、支給事業を担う地方自治体においては事務作業の煩雑化等による負担増大など、問題点が多く指摘されています。我が会派としては、子育て世帯が利用しやすく、生活の安定に資するような給付のあり方が追求されるべきであり、先行給付金の迅速な支給とともに、2回目の給付については、「クーポン給付」ではなく「現金による給付」が望ましいと考えることから、「全額現金給付」を要望書として提出しました。その後、國の方針変更により、全額現金給付が実現することになりました。



令和4年度予算要望書を提出！

11月15日、神谷市長へ会派として取り組みを進めている案件を取りまとめ、令和4年度の予算化に向けて要望書を提出しました。コロナ禍の中での感染対策・経済対策等、市民の皆様の声を届けさせていただきました。(予算要望書は、市内全自治会長へ郵送しました。)



会派重点取り組み事項の実現！

オミクロン株・第6波への対応



新型コロナウイルス変異株であるオミクロン株が世界的に猛威をふるってきており、日本においても第6波への懸念が高まってきております。本市としても最大限の警戒を持って対応していくよう求めると共に、ワクチンの3回目接種を一日も早く実施し、市民生活の安全・安心を確保すべく全力を尽くします。ワクチン接種の予約に当たっては、集団接種の予約枠に加え各医療機関での一般向け予約枠についても千葉市ワクチン接種予約サイトや千葉市コロナワクチン接種センターを通じて来年1月上旬を目途に予約受付開始予定です。

日本初の許可制!金属スクラップヤード条例制定!



千葉市内にある金属スクラップを保管する「ヤード」に対し、設置を許可制とし、違反者に刑事罰を科す全国初の規制条例が施行されました。(会派として条例制定に向けて、若葉区の現地調査から地元自治会との協議等積極的に取組みました)12月1日までに、既存事業者から88事業者107事業場分の届出があり、市の把握よりも多く、また、届出をした事業者は、来年の2月1日までに、条例の保管基準に適合させるとともに、適合状況を届ける必要があります。本市が立入検査で確認、基準を満たしている場合にみなし許可、無許可の事業者には、撤去に向けた勧告、命令等が行われます。

スクールサポートスタッフ全校配置!



全市立の小・中・高・特別支援学校へスクールサポートスタッフの全校配置を実現しました。来年度も引き続き全校配置に向け、市長へ予算要望を行いました。

○スクールサポートスタッフとは…教員が児童生徒への指導や教材研究等に一層注力できるよう、授業準備や採点業務の補助など教員が行う業務のうち、専門的な知識や技能を要しない業務を行います。



県市間連携強化へ！

・千葉県は熊谷知事、千葉市は神谷市長が誕生したことから、かねてから課題でもあった県と市の連携事業について、全力で取り組んで参ります。
・消防防災ヘリコプターの共同運航体制の構築と維持管理経費の財政負担、若葉区・緑区の一部の市水道事業を県との経営統合による効率化等、県と協議を進め、市民サービスの向上を図ります。

[女性のためのつながりサポート事業]が会派要望により実現！



4月16日「コロナ禍における生理の貧困に対する緊急要望」「新型コロナ禍における女性の貧困に係る要望書」を神谷市長に提出、生理用品が手に入らない方への配布、また、コロナ禍で不安を抱える女性に寄り添ったきめ細かい支援【女性のためのつながりサポート事業】を民間と連携し実現しました。



会派提出の意見書が可決！

私ども会派提出の意見書が、議会で可決成立し、国(県)へ送付されました。

- 子ども医療費助成制度の拡充を求める意見書
- 障害者等の運賃割引が可能なICカードの普及を求める意見書
- ミャンマー国軍による自国民への弾圧・暴力を即刻停止するよう求める意見書

会派重点取り組み事項

私たち千葉市議会「未来立憲民主ちば」は、立憲民主党所属議員8名と無所属議員3名の計11名で会派を形成しており、3月に行われた千葉市長選挙では、会派一丸となって神谷市長を応援しました。神谷市長と政策協定も締結しており、市長与党会派として、下記重点分野だけでなく市民の皆様の意見をしっかりと受け止め、市民サービス向上に向けて取り組んでまいります。

小中学校のトイレ洋式化・ドライ化早期実現へ

児童生徒の学習・生活環境の向上を図るために、全市立学校の環境整備としてトイレの洋式化、ドライ化を平成24年度から求め、毎年着実に改修が行われております。令和6年度末までに全ての改修工事が完了する予定です。(今年度末見込対象校146校中79校に整備完了、整備率54.1%)



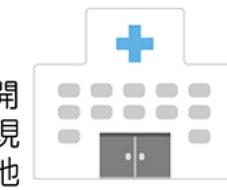
自転車競技施設 TIPSTAR DOME CHIBAがオープン!

国際規格の自転車競技の木製250mバンクを有するドーム施設がオープン、これまで会派として取り組んできました250競走の開催が実現しました。国際レースの誘致等、新たな千葉市の名所となるよう働きかけていきます。また、隣に(仮称)千葉市体育館の建設もはじまり、2023年3月供用予定となっています。



新病院整備へ!

老朽化した海浜病院に代わる新病院の早期開院(令和7年度)を目指します。開院予定地は、現在の海浜病院から約2km西側の美浜区若葉地区。開院にあたっては、市民の皆さまが利用しやすい交通手段の確保に努めます。引き続き、市民の安心・安全を守る医療の提供をするため、経営改革にも取り組みます。



障害者支援を強化へ!

「発達障害者支援センター」では、アウトリーチ型の支援を強化します。保育所や幼稚園などに相談員を派遣する「巡回相談(すくすくサポート)」に公認心理師、保育士など4名を配置しました。必要に応じて所属機関と連携・協働し、本人や家族が安心して過ごせる環境づくりの支援も行います。



マイナンバーカードの普及加速へ!

健康保険証として利用可能となるマイナンバーカードの普及促進を会派として当初から取り組み、現在の交付枚数434,965枚、交付率44.6%(12月1日現在)と急速に普及が進み、政令市中3番目の高さとなっています。令和5年3月末までに、交付率100%を目指しています。



児童相談所の体制強化へ!

年々増えている児童虐待通報や多様化・困難化する子どもの相談に適切に対応するため、児童相談所の人員を拡充し、関係機関との連携など機能強化を図ります。令和4年4月に現施設のなかで2所体制とし、将来的に、別施設での2所化に向けて整備を進めています。



公立夜間中学を開校へ!

学びの保障の機会を提供し、様々な学びの在り方に対応する為、千葉市としては初めてとなる公立夜間中学を令和5年4月に美浜区真砂中の分校として開校します。



市民会館を再整備へ!

老朽化した市民会館の再整備を進め、文化芸術の振興、地域活性化を図るべく、いくつかの候補地の中から、JR千葉支社跡地(JR千葉駅隣接)を選定。今後JR東日本との具体的な協議を進めます。大ホールについては、客席を1,500程度とし、質の高い鑑賞機会を提供できる予定です。



行政手続きのオンライン化実現へ!

行政手続きのオンライン化実現へ!

市民サービスの向上に向け、今年度中に、行政手続きの8割を電子申請等オンライン化を実現し、将来的には全ての行政手続がオンライン化され、市民が窓口に行かなくても、全ての手続が自宅で完結するような仕組みづくりを行い、日本一の電子市役所を目指していきます。



未来立憲民主ちば



http://miraiminshu.com/
お気軽にお問い合わせ下さい。



幹事長
3期
稲毛区 かわい 隆史



副幹事長
3期
美浜区 田畠 直子



副幹事長
3期
中央区 亀井 たくま



会計
1期
美浜区 岩井 よしはる



7期
花見川区 さんpei 輝枝



4期
緑区 白鳥 誠



3期
花見川区 だんぎ 和彦



3期
若葉区 麻生 のりお



2期
稲毛区 渡辺 忍



1期
稲毛区 小坂 さとみ



1期
若葉区 秋山 あたる